

第 40 回高齢者排泄ケア講習会

アンケート集計結果

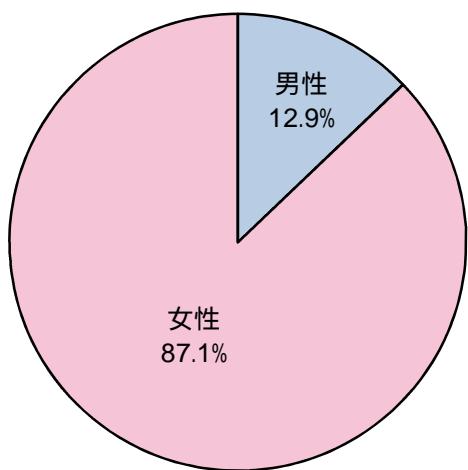
* H26.7.25 (金) 実施

会場： 福岡国際会議場

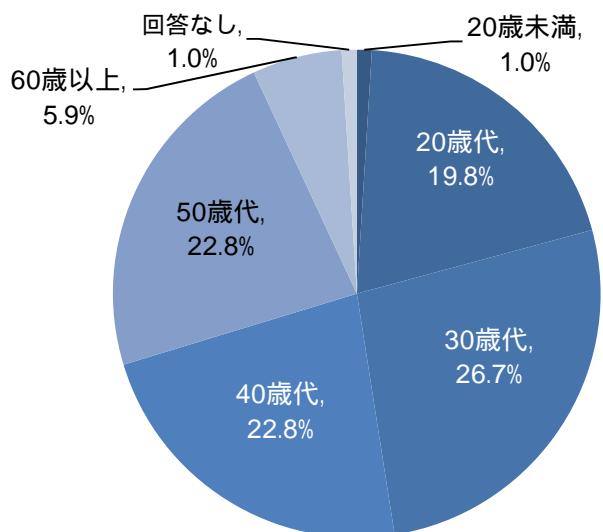
講習会参加者 120 名／アンケート回答者 101 名（回答率 84.2%）

あなたご自身についてお伺いします

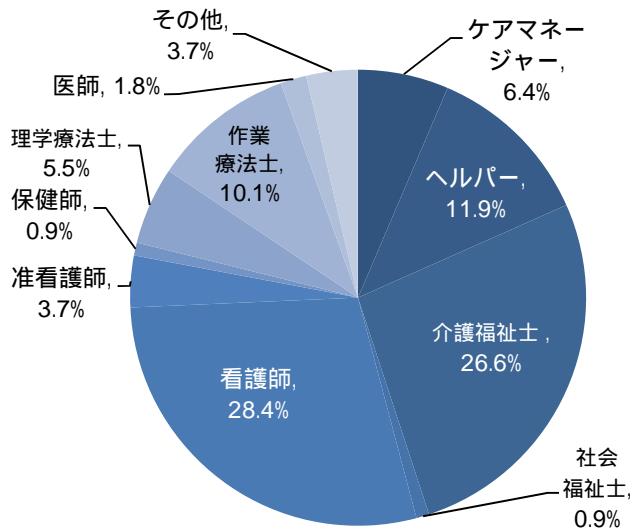
1】性別



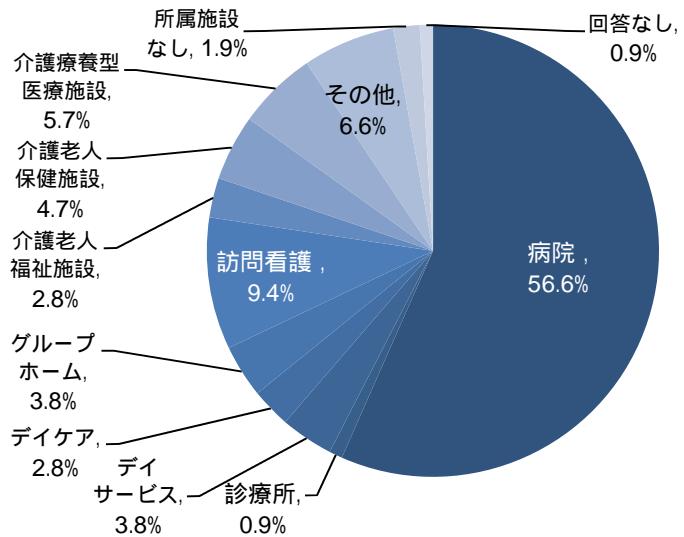
2】年齢



3】職種

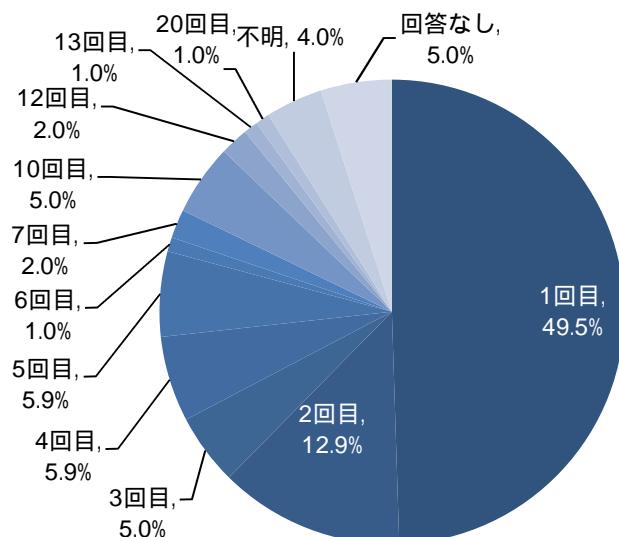


4】所属施設

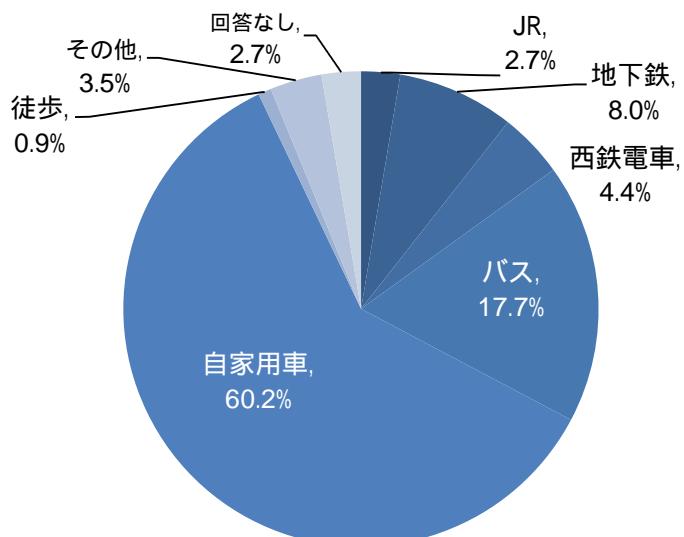


高齢者排泄ケア講習会についてお伺いします

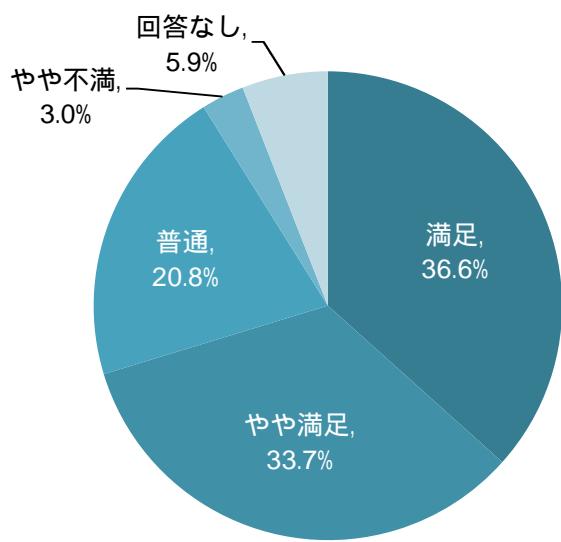
1】今回でこの講習会は何回目のご参加ですか？



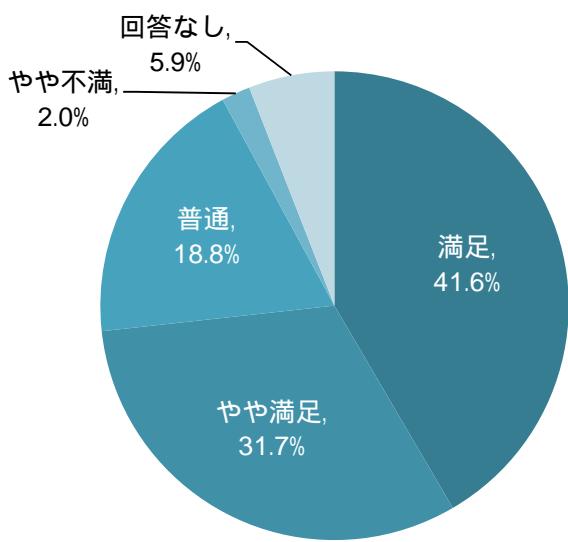
2】ご来場の際に利用された交通機関



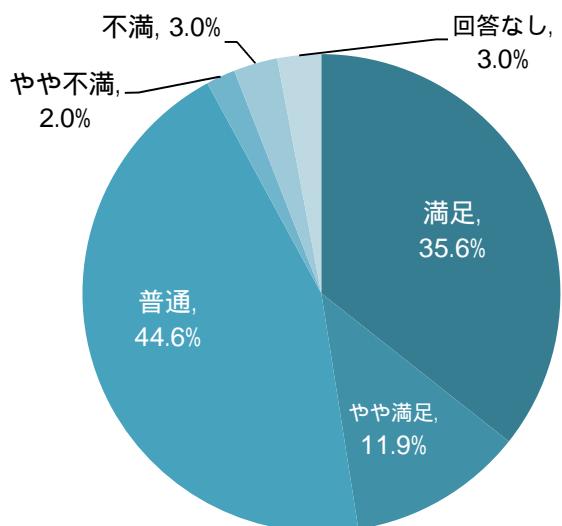
3 - 1】本日の講習会の内容について
『らくらく排泄ケア
～様々な排泄ケア用品の開発に携わって～』



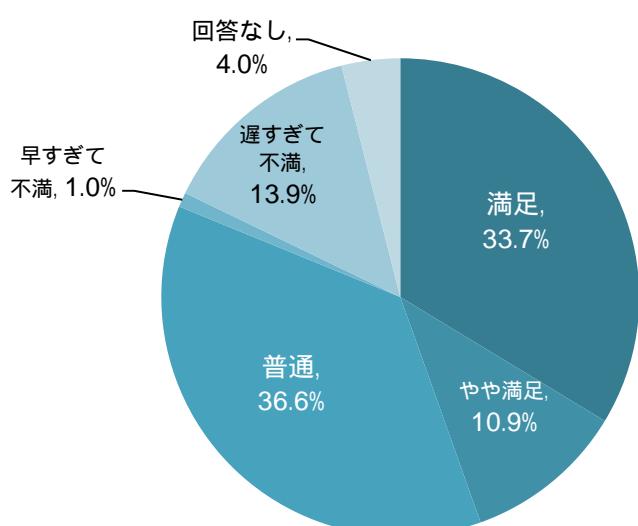
3 - 2】本日の講習会の内容について
『自立重視型排泄アプローチ
～排泄自立に向けたリハビリテーション～』



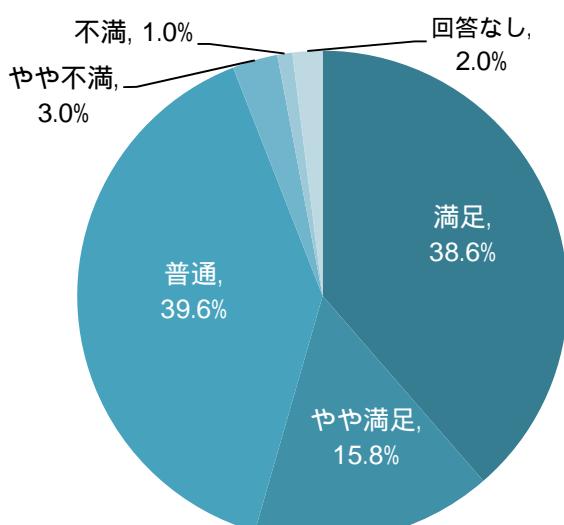
4】本日の講演時間について



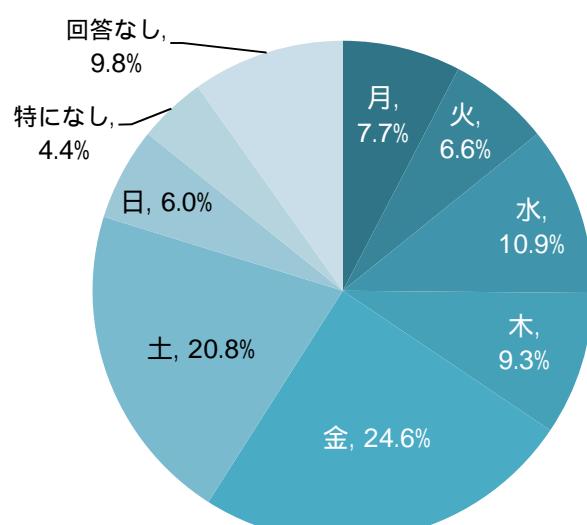
5】本日の講習会開始時刻について



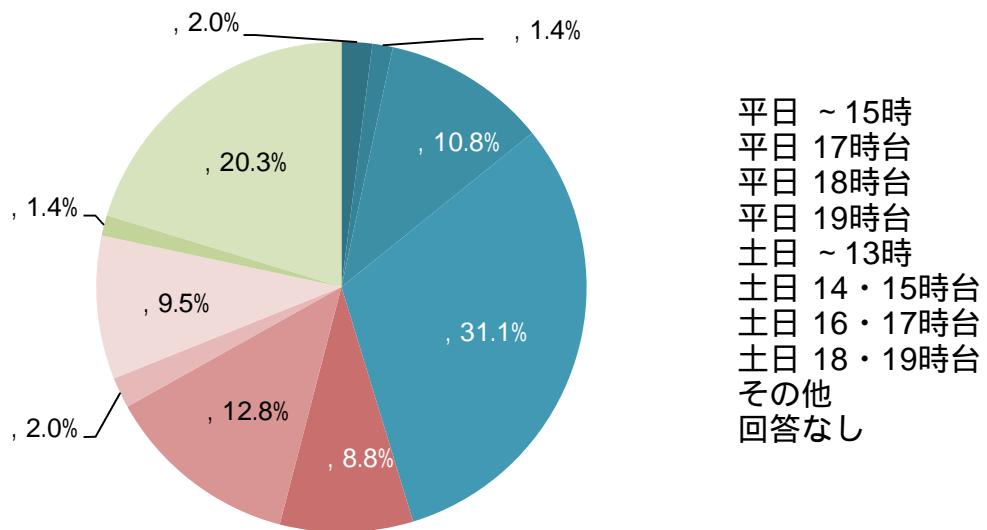
6】本日の会場について



7】参加しやすい曜日



8】参加しやすい時間帯 開始時間



9】 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望など、ご意見がございましたらご記入ください。

講習会の感想：

- ・ ポータブルトイレ自立の取り組み、興味深かったです。立位座位バランスなど 1 つ 1 つの動作を考えると「自立」までもってくるのは簡単ではないなか、あそこまで取り組まれているんですね。「転べない状況を作る」ということなんですね。なかなか Bed スペースの兼ね合いで常にベッドサイドに pwc をとることが難しいのが悲しいです。
- ・ 2 つ目の講演は素晴らしい取り組みだと思います。
- ・ 道具が自立に向けて大きな役割を担っていることがわかり、勉強になりました。問題提起してそれを解決にもっていける労力、努力に感心しました。自立したい気持ちに寄りそえることがすばらしい！！
- ・ 初めて参加させて頂いたので勉強になりました。排泄の取り組みは、回復期リハ病棟の課題であり、リハビリとの協力の仕方、トイレ誘導へのリハビリの参加など、学んでいきたいと思います。

講習会で取り上げてほしいテーマ：

- ・ 高齢者の排便コントロールについて。内服や浣腸などを使用する場合の段階を知りたいです。
- ・ 導尿（特に女性）と摘便の方法を詳しく知れたらと思います（ふくふくプラザの方に摘便の回があったと聞いて参加しました）。
- ・ 在宅での排泄方法、排泄器具に関する内容→特に老老介護における状況でも使用しやすい排泄道具や方法（できるだけ負担の少ない）など
- ・ 自宅でのいろいろな排泄の工夫を知りたい。オムツの工夫・介護用品の負の部分も知りたい。
- ・ 在宅での実際のパターンを色々と知りたい。
- ・ 排泄と在宅環境、改修
- ・ 人工肛門と排泄ケア
- ・ 当院では P-トイレの使用も基本的には行わず、トイレでの排泄を 2 人介助必要な場合でも行っています。患者自身も P-トイレや尿器の使用に拒否を示すことがほとんどです。器具用いる排泄ではなく、トイレでの排泄に移行するための関わり方について知りたいです。
- ・ 病院でのケアを拒否する患者が今後増加することが予想されます。今までのプライバシーを考えないケアでなく、患者に寄りそった病院の取り組みなどあれば見てみたいです。
- ・ 紙おむつ、パッド、フラットシート、リハビリパンツの正しい適応基準等と正しいあて方
- ・ 病院で使用している排泄の道具などが在宅でどのようにいかされているのか知ってみたい。
- ・ 頻尿患者様、認知症患者様の特徴、原因、対応
- ・ 事例での症例紹介、過活動膀胱や頻尿への対応等
- ・ 排泄を行う上での必要な動作、そのための必要なりハビリ等について知りたいです。
- ・ 移乗のやり方、腰を痛めない介護のやり方
- ・ ベッドから車いすの移乗
- ・ スキンケア
- ・ 院内感染

- ・ 骨盤底筋訓練のエビデンス
- ・ 膀胱全摘後の看護
- ・ 栄養管理
- ・ 看取りについて（2名）
- ・ 講演者のディスカッション

その他：

- ・ レジュメの字が小さすぎてせっかくの資料が読みにくかったです。
- ・ 写真や図をもう少し大きくして下さい。
- ・ 最初の講演の資料が見にくかったです。
- ・ 室温が寒いため、調整していただきたい。
- ・ 先生方、一度 福岡市介護実習普及センターの福祉用具展示場見学して下さい。市の予算で運営されています。東京都は閉鎖されました。
- ・ 参加しやすい時間帯は、業界として休日か、仕事としてカウントしてもらうのであれば日中がいいと思います。
- ・ 今回の2時間程度の講演ならば遅い時間でも日勤の終了後に参加できるのでいい。この日のために休みを取らなくていいので。
- ・ 勤務 17:30までですので、どうしても 19:00～21:00でないと出席できません。年間休みなくあいています。